



師弟一如

稲田中学校だより NO. 17
平成30年1月11日
発行人 校長 八木沼孝夫

教育目標 豊かな人間性と社会性を身につけたたくましい稲中生

○自ら学ぶ生徒（知） ○思いやりのある生徒（徳） ○健康で働く生徒（体）

あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。平成30年の希望に満ちあふれた新春を迎えられたことをお喜び申し上げます

平成30年は、市内初の施設一体型小中一貫校教育校「稲田学園」開校を迎えることになり、大きな節目の年になります。現在、4月の開校に向けて、教育課程や教育システムの検討や準備の最終段階を行っているところです。また昨年10月からは、生徒たちは、素晴らしい環境の新校舎での生活を送ることができています。これもひとえに保護者の皆様をはじめとする多くの方々のご支援とご協力の賜物です。

現在中学校校舎に掲げている「輝け 稲田っ子 学園を彩る華となれ」のスローガンのように、児童生徒一人一人の個性が輝き、子ども達の笑顔で学園を彩るような学校づくりをしまります。

本校では、これまで平成29年度の重点として、「小中一貫教育の推進」・「授業改善による学力向上」・「心の教育の充実」・「積極的な生徒指導の推進」・「地域や保護者との連携」・・・「夢と希望が持てる学校の実現」を重点目標に掲げ、教育活動を行ってまいりました。子ども達は楽しく学校生活を送り、学習や部活動、さらには委員会活動等に積極的に取り組んでいました。その結果、中体連をはじめ各種大会やコンクールでの活躍や秋華祭・松明あかしての子ども達の活躍など充実した教育活動を実践することができました。今後も、今年度のまとめの学期である3学期を充実させ、3年生の進路実現、1・2年の進級にむけて、教職員が一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

今年も、「子ども達の笑顔と、教職員の自信が満ちあふれ、保護者から信頼され、地域から愛される学校」を目指して頑張りますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



校長 八木沼孝夫



3学期始業式校長式辞（抜粋）

あけましておめでとうございます。

平成30年、2018年という新しい年を迎えました。平成30年はこの稲田中学校にとって大きな節目の年になります。平成30年4月に小中一貫教育校「稲田学園」が開校することになります。そういった意味で、この第3学期はいろいろと慌ただしくなることも予想されますが、3年生は4月からの高校生活、1・2年生は小中一貫教育校での新しい学校生活がしっかり送れるように、3学期を充実した形で過ごすことができるようがんばってほしいと思います。

3学期始業式の今日は「言葉」についてお話をしたいと思います。

ある機関の調べによると、「言われてうれしい言葉は何ですか？」という質問に対して回答したアンケートの結果がありますが、なんだと思いますか？

第1位 ありがとう 57.2% 第2位 おはよう・こんにちは 26.4% 第3位 大好きだよ 13.9%
約6割の人が「ありがとう」という言葉を言われてうれしいと答えています。みなさんはどうですか？

ところで、この「ありがとう」を漢字で書くと「有難う」です。有ることが難しい＝滅多にないという意味です。室町時代に仏教思想がひろまり、神や仏による奇跡（滅多に起こらない貴重な出来事）への感謝の言葉になり、それがのちに有ることが難しい滅多にない出来事を「有り難い出来事」として、感謝の気持ちを表す「ありがとう」になったそうです。

では、この「感謝」という言葉も、漢字に少し違和感を感じませんか？「謝る」を「感じ」と書きます。これは「謝るほど感じる」という意味です。例えば、忙しい中手伝ってくれた人に対して、申し訳ないと謝る気持ちと、嬉しい気持ちが同時に湧き出てくる「忙しい時に手伝ってくれて申し訳ない、本当に有難う」という感情です。これも日本人らしい言葉の解釈ですね。

昔から私達日本人は「言霊（ことだま）」という言葉を使っていました。言葉には霊（れい・たましい）が宿っていて、「良い言葉を口に出せば良いことが起こり、悪い言葉を口にすれば悪いことを呼ぶ」と言われてきました。

今、若い人たちが発している「うざい」「きもい」「くそ」「死ぬ」という言葉を聞いていて、あまり気分が良くないし、がっかりする時があります。こんな言葉が使われている場面は決していい雰囲気ではない状態ですね。

みなさんも、「有難う」や「感謝」という言葉を意識してたくさん使って、自分もそして周りの人にも良いことが起こるような学校生活にしていってほしいと思います。そうすればみんなが楽しいと思える学校になるのではないのでしょうか。



平成30年4月 須賀川市立小中一貫教育校 稲田学園 開校（施設一体型小中一貫校）
小中一貫教育スローガン 「輝け 稲田っ子 学園を彩る華となれ」

立派な態度で臨んだ始業式

1月9日(火)第3学期始業式が行われました。始業式では校長式辞の後、1年代表：岩崎歩美さん、2年代表：常松ひなさん、3年代表：大河原渉さんが「冬休みの反



1年 岩崎歩美さん



2年 常松ひなさん



3年 大河原渉さん

省と3学期の抱負」を堂々と発表してくれました。それぞれの学年の反省と目標などを踏まえた素晴らしい発表でした。そのほかの生徒も、しっかりとした姿勢で真剣に話を聞いていて、立派な態度で始業式に臨んでいました。

新年を迎え、「新年の抱負・目標」を掲げて充実した3学期・平成30年にしてほしいと思います。

高校入試スタート

1月に入り私立高校の入学試験が始まり、いよいよ高校入試が本格化してきました。

現在、3年生が冬休みや放課後も学校で受験勉強を行ったり、入学願書の作成や小論文・面接対策のために先生方から指導を受けたりしていま



す。これまでの受験勉強の成果を発揮できるように、風邪やインフルエンザなどに罹らないよう健康管理に気をつけて、頑張してほしいと思います。

◎◎◎主な高校入試日程◎◎◎

1月12日(金)	尚志高校推薦入試
1月17日(水)	帝京安積推薦入試
1月18日(木)	県立高校I期選抜出願
1月23日(火)	日大東北推薦入試(～24)
1月24日(水)	帝京安積合格発表
1月25日(木)	尚志高校合格発表
1月26日(金)	日大東北合格発表
2月1日(木)	県立I期選抜面接等
2月2日(金)	(県立I期選抜面接等)
2月6日(火)	県立I期合格内定通知
2月8日(木)	県立入学確約書提出(～13)

今月の「ABC大作戦」はAの「あいさつ」

～寒さに負けずに“さわやか”なあいさつをしよう～

1月の小寒が過ぎ、一段と寒さが厳しくなっていますが、今月の「ABC大作戦ver.2」の重点は「A」の「あいさつ」です。寒さのためか、最近の朝のあいさつ運動でのあいさつに元気がなくなっているようです。毎日の給食の時間に放送される「お日様あいさつ」の数字が100%になりません。うつむき加減でマスクを着用している生徒も多いのではないのでしょうか。



現在、3年生の面接指導をしていて「稲田中学校の良いところは何ですか？」と質問すると「あいさつがよいところです。」と答える3年生が多いです。生徒会と生活委員会が取り組んでいる「お日様あいさつ」や「いつでも なんとでも だれにでも」あいさつをする「いなだあいさつ」が稲田中学校の伝統です。校長式辞で話題にした「言われてうれしい言葉ランキング」でも第2位になっています。

あいさつをすれば、お互い気持ちのよい毎日をすごすことができます。寒さに負けずに、さわやかなあいさつを習慣にして、全校生徒が気持ちのよい生活を送れるようにしてほしいと思います。

英単語コンテストにがんばろう

1月30日(火)に今年度3回目の基礎学力コンテスト「英単語コンテスト」が行われます。朝自習などを使った本格的な取組は、15日(月)から始まりますが、冬休み前には出題範囲のプリントが配付されています。基礎学力コンテストはがんばった分だけの成果は発揮され、「勉強もがんばればできるんだ」という達成感を味わうことが出来るはず。前回の計算コンテストではよい結果になっていますので、今回も全校生徒一丸となって取り組んでほしいと思います。



自由参観

1月15日(月)・16日(火)に、今年度3回目の「自由参観」を実施します。授業の様子や休み時間、部活動等自由にご覧ください。新しくなった新校舎の様子もご覧いただければとおもいます。お越しの際は昇降口からお入りください。



稲田中学校ホーム http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=202

←左のQRコードからもご覧になれます。